

ものづくりの楽しさを体感

11月4日(日)ポリテクカレッジ高知で「ものづくりフェスタ」が開催され、約2,200人の親子連れで賑わいました。会場は多彩なイベントが開かれ、中でも「ものづくり体験」は、抽選券を求めて行列を作るほどの人気コーナー。教員や学生の指導を受け、子どもたちは集中した真剣な表情で、ぬりばしやミニミニちゃぶ台など、オリジナルの作品を作っていました。参加したある親子は「毎年楽しみにしています。いっぱいものづくり体験ができて楽しかったです」と満足した様子でした。



▲【左】組み木パズルづくり【右】お箸をヤスリで研磨
▼ぬりばし



お 香南市民チャリティーゴルフコンペ収益金贈呈

11月6日(火)市商工会が、市内の社会福祉施設「フレンドリー」と「愛童園」へ、香南市民チャリティーゴルフコンペによる収益金の一部を贈呈しました。この寄付は今回で10回目となり、これまでも市内の福祉施設に車いすなどを寄付してきました。畠中義雄会長は「これからも少しでも社会に貢献できるように、この活動を続けていきたい」と話していました。



ト スポーツ選手活用体力向上事業 サッカー教室

11月13日(火)赤岡小学校で、同校5・6年生約60人を対象としたサッカー教室が行われました。講師は、元日本代表DFの名良橋晃さん。初めに、名良橋さんと一緒にボールを持って走ったり、手でドリブルをしたりしてボールに慣れた後、ミニゲームを実践。現役時代を彷彿させるようなキレのある動きを披露し、児童も負けじと一生懸命にプレーしました。また「靴底を地面と平行にして蹴るとボールが真上に上がる」というリフティングのコツも伝授。名良橋さんは「いろんな人との出会いを大切に、自分に負けない強い気持ちを持って、夢や目標に向かって努力・チャレンジして欲しい」とエールを送っていました。



色 城山公園 懸崖菊

香我美町山北の城山公園の懸崖菊が、11月いっぱい訪れた人々の目を楽しませてくれました。城山公園の崖を利用して「城山に公園を作る会」の地元ボランティアの方が、5年前から整備。約20アールの敷地に25種類以上・1万本以上の色とりどりの菊が、今年も見事に咲き誇りました。黄色の菊で「みかん」を表現する工夫も。代表者の長崎清さんは「今年は例年になく大雨が降り根腐れもしましたが、ボランティアの方々の協力で皆さんに喜んでもらえる菊になりました」と目を細めました。



▲11月14日(水)撮影。満開を迎えました

豆 香南キッズ 親子料理教室

10月20日(土)・21日(日)の両日、赤岡小学校で香南市小中学校食育推進検討委員会主催の親子料理教室が開催されました。親子での楽しい調理体験を通して「食」への関心を高めてもらおうと、市内の栄養教諭が初めて企画。市内の小中学生とその保護者40人が参加し、豆を使った調理を体験しました。おいしく会食した後、豆の種類や栄養についても学習。参加した児童からは「料理を作るのは難しかったけれどすごく楽しかった。家でもお母さんを手伝って作りたい」と料理に興味を持った、頼もしい感想が聞かれました。



▲【左】親子で共同作業【右】「おいしい」と笑みがこぼれます

本 のいち子ども図書館クラブ 香南市読書祭り

10月27日(土)のいちふれあいセンターで、のいち子ども図書館クラブが、クラブ結成10周年を記念して「香南市読書祭り」を開催しました。午前の部では、紙芝居やエプロシアター、大きな絵本の読み聞かせが行われたり、折り紙などを楽しみました。中でも、エプロンを使った人形劇のエプロシアターでは「おおきなかぶ」や「オオカミと七ひきのこやぎ」が行われ、子どもたちはポケットから次々出てくる登場人物に目が釘付け大きなかぶが抜けた時や、オオカミが部屋に入ってきた場面では、歓声や悲鳴が上がっていました。午後の部では小児科医、澤田敬先生の「あまえ子育てと絵本の読み聞かせ」と題した講演も行われ、みんなで読書の大切さを学びました。



▲エプロシアターをする図書館クラブのスタッフとそれに釘付けになる子どもたち

万 高知空港周辺(海上)における航空機事故対応訓練

11月1日(木)吉川漁港周辺で、高知龍馬空港へ向かう航空機が海上に墜落したとの事故を想定した救助訓練が行われました。高知空港緊急計画連絡協議会の主催で、高知空港事務所をはじめとする52機関約300人が参加。同事務所が県警や消防など関係機関に通報した後、県防災ヘリで海上に漂流する乗客を引き揚げ、また、救助艇などで岸壁に搬送。災害派遣医療チーム(DMAT)などが、救助された負傷者の治療の優先順位を決めるトリアージ実施後、救護テントで応急処置をし、病院に搬送しました。参加者は緊張感をもって迅速かつ的確な対応を行い、緊密な連携態勢を確認しました。



1 警察の救助艇による救助活動
2 被救助者を搬送する自衛隊員
3 消防とDMATによるトリアージ

子 須留田八幡宮 秋の大祭

11月3日(土)赤岡町の須留田八幡宮で秋の大祭が行われ、大人が演じる獅子舞と子ども獅子舞が披露されました。獅子舞は9年前に復活し、昨年からは後継者育成のために子ども獅子舞も誕生。地元小学生4人が、大人の動きを見よう見まねで練習を重ねてきました。その甲斐あって、太鼓のリズムに合わせて軽妙に踊る獅子と天狗の躍動感あふれる大人顔負けの動きに、観客からは惜みない拍手と歓声が湧き起こっていました。天狗を演じた岡崎快舟くん(7歳)は「いっぱい練習して、お父さんみたいに上手になりたい」と意気込んでいました。親子で共演する日が、待ち遠しいです。



▲御神幸で立ち寄った高見での子ども獅子舞

